

01 目的

キリングループはパーパスの1つに「健康」を掲げ、社会課題を解決しながら社会と共に持続的に成長し、社会的価値と経済的価値を両立するCSV経営の実現を目指している。健康経営では、従業員一人ひとりが日々生き活きと健康な状態で働くことで、常に高いパフォーマンスを発揮でき、働きがいを高めている状態を目指している。

02 課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題

課題	① 組織のパフォーマンス向上
健康経営で解決したい経営上の課題	プレゼンティーズム改善に向け自社独自の調査の結果、睡眠、メンタルヘルス、運動をプレゼンティーズム改善の因子の1つと特定し、改善の取り組みを行った。
健康経営の実施により期待する効果	睡眠が改善することで、従業員一人ひとりが日々生き活きと働くことができ、高いパフォーマンス発揮し、チームや組織全体のパフォーマンスが向上すること

自社従業員(組織)の課題と目標

重点課題1 ⑨ 生活習慣改善(運動・睡眠・食生活等)に関する従業員の課題

課題内容	生活習慣とプレゼンティーズム値を確認したところ、特に「睡眠・休息」がプレゼンティーズム値との相関が高いことが分かった。*別途実施した自社独自調査からも、「睡眠」について従業員の関心は高いが行動に移せていないことが分かった。		
目標	1週間に十分な睡眠がとれている日が3日以上ある人数		
	数値	単位	年度
取組前実績値	28	%	2023年度
現在の実績値	40	%	2024年度
目標値	実施前より改善	%	2024年度

重点課題2 ⑭ 従業員の健康問題に起因する生産性低下防止や事故発生予防に関する課題

課題内容	酒類の製造・販売を生業とする企業グループとして、従業員の適正飲酒を推進し、飲酒習慣を確認するAUDIT(飲酒習慣スクリーニングテスト)を毎年実施している。コロナ禍終息後の飲酒機会増加後悪化しており、研修等継続した取り組みを実施している。		
目標	AUDIT 8点未満割合		
	数値	単位	年度
取組前実績値	71.6	%	2023年度
現在の実績値	71.7	%	2024年度
目標値	73.0	%	2024年度

04 健康経営の成果


経営上の課題に対する健康経営の成果

プレゼンティーズムの改善を目的に、睡眠改善プログラムをPoCとしてテスト実施、参加者には一定の睡眠習慣や睡眠充足感の改善が見られた。今後対象を広げ内容をブラッシュアップして実施予定。デバイス活用による睡眠の見える化はモチベーションにつながる事がわかったので、各自活用しやすい方法で見える化に取り組むことを推奨したい。

03 施策・実績

健康経営の取り組み

施策内容(重点課題1)

 **睡眠偏差値For Bizの健康経営サービスを採用。**
アンケート回答による偏差値計測をプログラム実施前後で実施し、効果検証

具体的な実践内容1

分類	外部サービス
名称	睡眠偏差値for Biz
提供元社名	ブレインスリープ
内容	睡眠偏差値(アンケート回答)、スリープコインによる睡眠計測、睡眠セミナー、コラム配信等
導入時期	2024年 2回
選択理由	●効果 ●社名・ブランド ●機能・性能 ●評判
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ●睡眠改善プログラムを実施し、十分な睡眠がとれている日数が週に3日以上から従業員 28%から40%に改善。 ●スリープコインによる睡眠の見える化をモチベーションとし、セミナーやコラムでインプットした睡眠改善に各自が取り組み、実施前後の睡眠の状態を偏差値として計測しフィードバックするもの。対象を絞ってPoCとして実施。スリープコインのコストを考えると対象人数拡大は難しい。

具体的な実践内容2

分類	自社サービス
名称	KIRIN naturals健康経営支援サービス
内容	従業員対象のサーベイを実施し、アンケート結果分析によりプレゼンティーズム改善の要因特定に活用
導入時期	2022年
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンティーズム改善の要因として、メンタルヘルス、睡眠、運動を特定。睡眠改善プログラムの導入につなげた。 ●自グループのため、従業員にあわせたカスタマイズで調査が実施できた。別途実施の調査でも同様の結果が出たため、因子特定の信ぴょう性確認につながった。


データ活用事例

事例名	健康管理システムの活用
内容	中野グループ本社のみで導入している健康管理システムを、主要事業会社の視点から拡大を開始している。取得データをどのように活用するかは今後の課題。健診や問診のデータなどを勤務先ベースでタイムリーに把握し、活用していきたい。

取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	手上げ式の施策では、健康に関心のある従業員の一定層中心の参加となっている。無関心層をいかに関心層に移行させ、行動につなげられるかが課題。
今後取り組みたい施策の課題	プレゼンティーズム改善のため、睡眠・メンタルヘルス・運動改善に取り組むが、成果創出には時間がかかることが想定されるので、継続が課題。女性の健康課題への対応が不足しており、今後取り組みを検討したい。

施策内容(重点課題2)

 **新入社員、新任経営職対象に加え、年に1回定期的に全従業員対象に適正飲酒研修を実施し、飲酒習慣の見直しと啓発を行っている**

具体的な実践内容1

分類	自社組織
名称	適正飲酒研修
内容	適正飲酒研修とテストの実施
導入時期	不明
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ●毎年研修を実施しており、実施率は9割以上。 ●アルコール関連問題を担当している酒類事業の従業員の協力のもと、自社内の内製で実施している。飲酒の知識に加え、自社の状況にあわせて研修資料に反映し、啓発に努めている。

具体的な実践内容2

分類	自社サービス / 外部サービス
名称	KIRIN naturals
提供元社名	キリンビバレッジ株式会社
内容	KIRIN naturalsの健康経営支援サービスを導入。生活習慣改善、適正飲酒プログラムを採用
導入時期	2022年
選択理由	●価格 ●効果 ●使いやすさ ●実績
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラム参加前後で、約6割の従業員のAUDIT結果が改善 ●本プログラムは、レコーディングとノンアルコールへの置き換えで飲酒量を減らすことにチャレンジするもの。終了後アンケートでノンアルコールへの置き換えが継続できそうと回答した従業員が多数おり、今後の改善が期待できる。